

平成30年6月18日(月)

「磐城高校イノベーション」

本校は、今、「福島イノベーションコースト構想を担う人材育成」に大きく関わっております。

「福島イノベーションコースト構想」とは、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、その地域に新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。

具体的には、廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組む仕掛けです。

磐城高校は、このプロジェクトの中で、「スーパー・イノベーション・ハイスクール」に位置づけられました。構想を牽引するトップリーダーの人材育成に取り組んでいくのです。大切なのは以下の5点です。

- 1 他者をリスペクト（尊敬）し、他者と協働し、高い志を抱いて社会変革や技術変革に挑む精神を保有すること。
- 2 健全なる社会体制を継続させるために努力を厭わず、思考力・判断力・表現力を駆使し、主体的・対話的で深い学びを実現させること。
- 3 健康な心身を保持するために、自己や他者との生活を豊かに対話し創造しながら営む意思を持つこと。
- 4 無限の可能性に向かって進む意欲を堅持し、地域課題や世代課題について常に意識しながら、課題解決のための様々な方策について粘り強く対峙できる能力を育てること。
- 5 知性を保持し、興味・関心を駆使して教養を深め、読書を継続し、人類の文化の真善美について深く傾倒することのできる感性とバランス感覚を育て、その営みに責任を有すること。

かつて、同窓の先輩であった草野心平に「同窓の友に」という詩の言葉が残されております。

阿武隈のふもとから いわき七浜から 鉄路沿いのじゅずなりの町から

われらは通い、われらは学んだ 曾ての磐中、今の磐高

眉あげて夢を追い、十代のわれらは青春を燃やした

過去は遠くまた近くそしてなつかしく

旧い新しい同級の友よ 同窓の友よ

温故知新の古諺に生きよう 大いなる未来を生きよう

イノベーション（変革創造）とは、古き良きものをリノベーション（回復、復元）しながら、様々なものとのコラボレーション（異なる分野の人や団体が協力して制作すること）することです。

まさしく草野心平の言葉通り、磐城高校イノベーションとは、温故知新の古諺の中に、大いなる未来を生きる磐城高校を切り拓く次なる一歩なのであります。